



勝山

卒業するまでに、逆上がり、二重跳び50回以上、漢字は毎回100点とれる子に

Tel:0867-44-3141 Fax:0867-44-3142 Mail:katsuyama_es@sch.city.maniwa.okayama.jp

小学校で大切なこと
学校が好き
学び方がわかる
人とうまく関われる
コロナに勝つ!!

行事で育てる2学期～運動会・学習発表会・その他～



40日間の長い夏休み、子どもたちの様子はいかがでしたか。7月中に宿題を終わらせ、充実した夏休みにしたいと誰しも思うものですが、現実には思い通りにいきません。そんな中、「夏休みをきっかけに運命を、人生を変える勝山大賞」の呼びかけに答えてくれた34名の子どもたち。挑戦したという事実だけでも十分に素晴らしいことですが、「毎日ラジオ体操」「毎日新聞配達」「毎日晚ご飯のお手伝い」など予想を超えるすごい取組に感動を覚えました。本当にありがとうございました。夏休み勝山大賞優秀賞は9月7日に発表です。

さて、2学期は、運動会、学習発表会等の大きな行事がありますが、まさに積極的生徒指導の大きなチャンス。8月28日(金)、赤・白・黄・緑組の応援団長を校長室に集め、以下のプリントを渡しました。「勝山小学校をさらにさらにいい学校にしてほしい」と。…児童玄関にチームワーク得点表を置いています。

応援団長へ

応援の得点 (チームワーク得点表) について

校長先生は、運動会や学習発表会で勝山小学校がさらにすばらしい学校になることを願っています。運動会では、応援についてPTA 会長さんや来賓の方と共に審査をします。次のように、校長先生の審査のポイントを示します。参考にして、良い運動会、良い学校生活をめざしていきましょう。

期間：令和2年9月1日(火)～9月20日(日) 運動会当日まで

当日の得点：20点 ※当日までの態度点と合わせ合計30点

- 声の大きさ ①リーダーの声 ②メンバーの声
- チームワーク ①上級生のリーダー性や動き ②待つ態度
- オリジナリティ ①2分間の演技 ②アピール ○応援態度全般

※ここまでで20点

運動会当日までの生活態度全般 10点 ※ここが特に大切

- ① 元気なあいさつをしているか(下級生にも広めているか) ② 下駄箱のシューズがそろっているか
- ③ 授業態度はどうか(宿題・課題の提出の様子) ④ そうじ、その他あらゆる場面での態度

特に、応援団長・副団長など高学年の生活態度を厳しくチェックします。

きっとできる



運動会の応援団長

赤：西田優生くん

白：黒木絢菜さん

黄：米山悠太くん

緑：白石莉子さん

さすが、勝小!!

始業式の締めは立候補した二人のリードで恒例の勝小コール。勝小いくぞ!と近持くん、コロナに勝つぞ!と松田くん。福本くん、磯田くん、福井さん、山本さんに続き、勇気ある6年生がまた出ました。近持くんと松田くん。いいぞ6年生。

近持：勝小いくぞ! 全OH!!!

松田：コロナに勝つぞ! 全OH!!!



運動会に向けて…心も体も勉強も

やる気満々1年生

1年生の5限目。この日は難波先生の書写の授業でした。「世界一良く効く睡眠薬は午後からの講義」とも言われ、5限目は眠くなります。でも、勝小の1年生はやる気満々、元気いっぱい授業を受けていました。運動会練習期間中ですが教室での勉強もがんばっています。

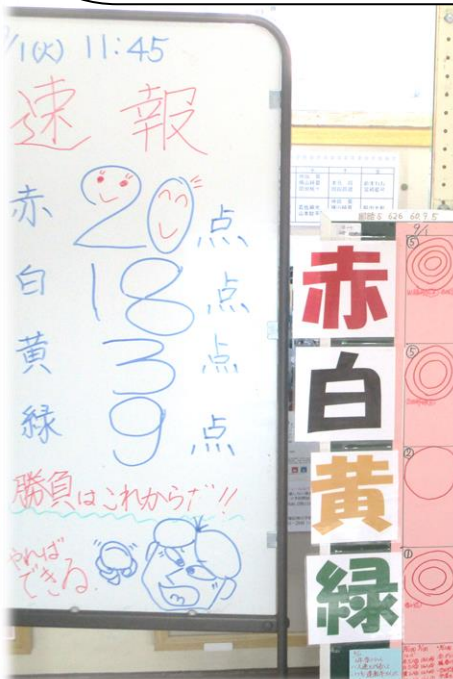


シューズに心が表れる

8月31日(月)、全校児童のシューズをチェックしました。シューズがそろっていたのは、1年生の山崎晴友くん、2年生は、植田晃大くん、藤本菜々香さん、3年生は、田村ロデッサさん、4年生は、森木涼翔くん、5年生は、野崎寛子さん、福井奈々惺さん、6年生は、西田優生くん、宮崎藍可さん、阪本実花さん、村上虹太くん、山田結愛さん、渡邊莉央くんでした。全校で13人(シューズそろえ率6.1%)。となりどうしてカンペキにそろっていたのが阪本実花さん、村上虹太くん(写真)。さすがに6年生です。213人全員のシューズが写真のようにそろうといいな。シューズに心が表れる…。



左は児童玄関に置いているチームワーク得点表です。9月1日(火)、いきなりの独走?は赤チーム。偶然か必然かシューズそろえもボーナス点も赤に入りました。それを僅差で追う白組。次に緑組。黄組からは差が大きいとのクレームの声があがりました。そこまで燃えてる勝小児童。しめしめ…。



コロナ禍でも責任感ある態度

右は運動会の応援団旗を6年生が考えているところです。手書きのデザイン画を実物投影機で映し出し、なぞり書きをしています。廊下では、各組の応援歌の相談をしていました。感心したのは一人一人が自分の役割を意識し、誰一人サボる子がいないことです。コロナ禍で学習面でも修学旅行などの行事面でも大きく変わった日常生活。物足りなさもあるでしょうが6年生の責任感ある態度に感心します。いいぞ6年生!!!!



どこでも漢字

さて、問題です。どこで何をしているところでしょうか。これは保健室前の廊下で3年生が体位測定をするために順番を待っているところです。よく見ると、全員が漢字ドリルを持っています。すごいぞ3年生!こうした隙間時間は授業の中でも結構あります。こんな時間を活用すれば、遊ぶ時間を削らず学力を伸ばせます。ドラえもんの声で、「どこでも漢字」…最も大切な教科(=国語)の基礎・基本(=漢字)を確実に身につけるため、勝小では漢字学習を今まで以上に大切にします。ちなみに、ドリル学習は1回ではだめなんです。ドリルの意味がありません。